

No. 901

企業

zoom up

アイブリ

柔軟な発想で次のステージを目指す

当社名の「アイブリ」は、以前の社名でもある「アイブリッジ」を短くしたもの。当社の企業理念である「ICTと人とのかけ橋になる」の意味を持つ。また、社長の橋井氏の姓も掛け合わせており、何ともユニークな社名といえよう。

当社は、橋井氏がソフトウェアの受託開発を手がけるべく2000年4月に滋賀県で設立した。当初は、橋井氏自身がプログラマーとして顧客企業に常駐し、プロジェクトに参加するという形をとっていた。仕事の関係で千葉に移転した後、しだいに仲間が集まり、「東京で仕事をしよう」ということで、2016年2月に渋谷に移転した。

現在、当社は業務系のシステム開発をはじめ、WEBサイト、クラウド環境構築などSI事業を軸にネットサービス事業も手がける。渋谷に移転した後、役員を含めて経験豊富な技術者が相次いで入社し、陣容はさらに拡大、充実した。

また、橋井氏は東証1部上場の「サイボウズ」の設立発起人の一人。従前は同社向けの業務を主体としていたが、現在ではサイボウズパートナー事業と称し、公式代理店としてサイボウズのインフラを生かしたアプリケーション開発などを手がけている。

「私はいつも周囲の人に恵まれてきました。私に不足している能力を周りの人が補ってくれるのです」と橋井氏は静かに語り、「牽引役というより、後ろからスタッフを支えるほうが性に合っている」と自身の役割を分析する。

気負いがなく自然体の橋井氏だが、豊富な経験を積む過程では、ピンチや失敗に何度も遭遇した。その際には「観点を変えて前向きに考える」というのが持ち味だ。いわく「今、新たなスキル、知識を吸収している」あるいは「この得難い貴重な

「常にワクワクしたい」と語る橋井社長



体験は、次に必ず生かせる」等々。苦境に立たされた時、このプラス思考で何度も乗り切ってきた。

顧客との関係については、「一にも二にもコミュニケーション」だという。橋井氏は「システムはあくまでも目的達成のためのツールであり手段であることを、お客さまにはお伝えします。目的は何かを明確にし、情報を共有しておけば業務はスムーズに遂行できます。そのためには常にコミュニケーションをとることが重要です」と強調する。ソフトウェア業界は多分に漏れず、人手不足の状態が続いている。そうしたなか、当社のスタッフは増え続けている。「社内においても同じこと。情報を共有してこそ同じゴールに向かうことができると思いますね」（橋井氏）

一見、「柳に風」とも受け取れる橋井氏の経営スタイルは、どんな強風にも重みにも折れない、しなやかな強靭さを備えているようにみえる。「今後は、ITトータルソリューションの提供も行っていきたいですね」と語る橋井氏。次なるハードルを乗り越えるのを楽しみにしているようだ。

（取材・文／東京支社情報部 安倍 史朗）

会社概要

アイブリ (株)
 TDB企業コード：969603521
 法人番号：9040001031817
 東京都渋谷区渋谷2-5-3
 電話03-6427-7988
 代表 橋井 芳高氏
 設立：2000年4月
 資本金：1000万円
 事業内容：システム開発等のSI事業、
 ネットサービス事業
 年収入高：約1億円（2018年3月期）
<http://aibri.co.jp>